

**第8回（2008年度）佐治敬三賞は
「実験室 vol.2『偽のアルレッキーノ／カンパネッロ』」
に決定**

財団法人 サントリー音楽財団（理事長・堤剛）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第8回（2008年度）受賞公演を「実験室vol.2『偽のアルレッキーノ／カンパネッロ』」に決定しました。

●選考経過

1. 応募のあった2008年実施公演について2009年1月12日（祝）東京・丸の内の東京會館において、選考委員8名により第一次選考を行い、候補者を選定した。
2. 引き続き3月15日（日）東京・赤坂のANAインターコンチネンタルホテル東京において最終選考会を開催、慎重な審議の結果、第8回（2008年度）佐治敬三賞に「実験室 vol.2『偽のアルレッキーノ／カンパネッロ』」が選定され、17日（火）理事会において正式に決定された。

●賞金は200万円。

●贈賞理由は別紙のとおり。

●選考委員は下記の8氏。

礒山 雅・伊東信宏・岡田暁生・岡部真一郎・白石美雪
榎崎洋子・舩山 隆・三宅幸夫

（敬称略・50音順）

<贈賞理由>

本公演の主催「labo opera 絨毯座」は、演出の恵川智美を中心とするオペラ・スタッフがオペラ歌手に参加を呼びかけ、半年以上の時間をかけてリサーチ・ワークショップを行いながら一つの舞台を作り上げていくという新発想のオペラ団体である。2005年に旗揚げしてから年度ごとに異なるテーマを設定し、リサーチ・ワークショップの成果をふまえて、「実験室」と題した公演で発表している。

この団体に所属していない歌手たちが呼びかけに応じて集まり、長い時間をかけて練習しながら心身を鍛え、舞台感覚を養って新たな表現に挑戦していくというあり方そのものが、日本のオペラ界にあっては類例がなく、ユニークで刺激に満ちている。

2008年3月27、28日に台東区生涯学習センター・ミレニアムホールで開かれた「実験室 vol.2」では、「オペラとコメディア・デラルテ」をテーマに、G. F. マリピエロの《偽のアレッキーノ》とG. ドニゼッティの《カンパネッロ》が二本立てで上演された。イタリアの伝統的な仮面劇から喜劇的表現を吸収した演出によって、マリピエロやドニゼッティの作品が本来もっている雰囲気再現することに成功。風刺や滑稽味など小味のきいた歌手たちの演技が生気を運び、スピード感溢れる舞台に結実した。舞台づくりには舞台スタッフにも参加を呼びかけ、仮面劇本来の装置らしい装置もない舞台を1枚の布と照明だけで現した簡素なステージを実現。そこで、みごとなアンサンブルと体を張った演技を繰り広げられた歌手陣の熱演もすばらしかった。

実験精神に富んだ企画と充実した公演は、まことに佐治敬三賞の趣旨にふさわしい成果を上げたといえる。

<公演概要>

名称：「実験室 vol.2『偽のアレッキーノ／カンパネッコ』」

日時：2008年3月27日（木）、28日（金）

会場：ミレニアムホール（台東区生涯センター）

演目：『偽のアレッキーノ』

ジャン・フランチェスコ・マリピエロ（台本・作曲）

久恒秀典（演出）、横山修司（音楽監督）、中村眞理（舞台監督）、

荒田良（美術）、稲葉直人（照明）、清野佳苗（衣装）

『カンパネッコ』

ガエターノ・ドニゼッティ（台本・作曲）

恵川智美（演出）、横山修司（音楽監督）、中村眞理（舞台監督）、

荒田良（美術）、望月大介（照明）、清野佳苗（衣装）

出演：『偽のアレッキーノ』

菊地美奈、岡本泰寛、谷友博、兎束康雄、西本真子、榎松雅子、

朝来康生、泉智之、光瀬名瑠子（客演）

『カンパネッコ』

今尾 滋、柴山昌宣、竹田有輝子、河野めぐみ、琉子健太郎、

光瀬名瑠子（客演）

ピアノ＝金森敏子、瀧田亮子、野口幸太

主催：labo opera 絨毯座

以 上

(ご参考)

佐治敬三賞について

(財) サントリー音楽財団(理事長・堤剛)は、故・佐治敬三(サントリー株式会社元会長、サントリー音楽財団元理事長)の功績を記念して、2001年度(平成13年度)から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては鳥井音楽財団(現サントリー音楽財団)を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたりました。

これまでの受賞公演

第1回(2001年度)

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日 東京文化会館小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」2001年8月31日

横浜みなとみらいホール

第2回(2002年度)

「アンサンブル・ノマド2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ・リサイタルホール

第3回（2003年度）

「現代の音楽展2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館小ホール

第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

第5回（2005年度）

「next mushroom promotion vol. 8 『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

2005年10月15日 ムラマツリサイタルホール新大阪

第6回（2006年度）

「武生国際音楽祭 2006」

2006年9月2日（土）～10日（日） 越前市文化センター他

第7回（2007年度）

「フランス現代音楽からの潮流～井上麻子×藤井快哉 DUO」

2007年11月17日（土）兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター

第9回（2009年度）「佐治敬三賞」応募について

2009年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2009年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2009年（平成21年）7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。
- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送またはFAXにてサントリー音楽財団までご請求下さい。また財団ホームページからもダウンロードできます。
- ・応募期間 2009年4月1日から5月31日
- ・お問合せ先 サントリー音楽財団

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-2-3 赤坂見附 MTビル

電話 (03) 3479-1594

FAX (03) 3479-2101

<http://suntory.jp/SMF/>

以 上